

筑水(ちくすい)

登録番号：第2060号

育成者：町田 裕 壽 和夫

登録年月日：平成元年9月19日

梶浦一郎 佐藤義彦

登録者：農林水産省果樹試験場（茨城県つくば市藤本2-1）

小園照夫 金戸橘夫

清家金嗣 志村 勲

来歴：「八幸」と「豊水」の交雑実生

大村三男 阿部和幸

栗原昭夫 岸本 修

特 性

■栽培特性

樹勢は中位で、「幸水」と同じか、やや弱い。枝はやや細く、母親品種の「豊水」に似て、湾曲しやすい。幼葉は毛じが少なく、鮮緑色を呈するので、他品種との識別が容易である。えき花芽および短果枝の着生はともに中位であり、短果枝の維持は「幸水」より容易である。

開花期は「幸水」と同時期であり、「豊水」より3日程度遅い。花粉は健全で多量にある。「幸水」、「豊水」、「長十郎」、「二十世紀」などと交配和合性である。

■果実特性

果形は偏円形で、果形の乱れは少なく、玉揃いは良好である。果皮は黄褐色で、果こうがやや短い。1果平均重は概ね250～300gの範囲にあり、多くの新品種がそうであるように、今後もう少し大きくなる可能性がある。肉質は緻密で軟らかく、果肉硬度は4.51bs前後で、「幸水」程度である。果汁の屈折計示度は、各地の試作結果から12～13%の範囲にあり、「幸水」と同程度である。果汁のpHは5前後で、酸味は感じられない。日持ち性は25℃のもとで、5～7日であり、「長寿」よりややよく、「新水」よりやや悪い。

収穫期は「長寿」より1～2日遅く、「新水」より2～3日早い。関東地方中部で8月上旬～中旬。九州で8月上旬である。

■病害虫抵抗性および栽培上の留意点

黒斑病抵抗性、えそ斑点病非発現性。黒星病その他の病害には、赤ナシの慣行防除で対応が可能である。

本品種は栽培上次のような点に留意する必要がある。

収穫適期の把握：日持ちがやや短いことと、成熟期に達した果実であっても、ていあ部の緑色が抜けきらないことが多い。したがって、とすると過熟果を出荷しやすい。普及に当たって、十分な検討が必要である。

樹勢の維持増強：樹勢が中程度で、樹冠の拡大が遅く、そのために収量が思うように上がらない、と言う傾向がみられる。栽植距離の検討とともに、新梢管理の検討が必要である。

軸折れ果対策：果こうが短く着果位置によって軸折れ果が発生しやすい。摘果時に注意が必要である。

■地域適応性

品質優秀で黒斑病抵抗性であるから全国のナシ栽培地帯に適するが、栽培上の留意点があるように、まだ検討を要する点が多い。

(町田 裕)